

関西観光DX研修

参加費
無料

様々な業界で叫ばれているDX化を旅行という分野でどう進めて行くのか、集客率アップが期待できる効率的な手法やメリット、事例を学び、現在置かれている観光事情に役立て、事業の効率化に繋げることを学びます。皆様のご参加をこちらよりお待ちしております。

2024年

日時

1月30日 火 13:30-16:30 (会場13:00~)

※進行状況により、時間が前後する可能性があります。

会場

①MEETINGSPLACE AP大阪茶屋町 [Aルーム]
大阪市北区茶屋町1-27 ABC-MART梅田ビル8階 TEL.06-6374-1109

②ウェビナーZOOM【アーカイブあり】

定員

会場 50名 WEB 100名

※定員になり次第締め切らせていただきます。

第1部

13:35~14:15

データを活用した持続可能な観光地域づくりの事例

講師：吉田晃彦氏 (海の京都DMO 伊根地域本部 事務局長)

第2部

14:15~14:55

地域の稼ぐスキームづくりに向けた地域商品の直売ツールの紹介

講師：川村武人氏 (NECソリューションイノベータ(株)
イノベーション推進本部シニアプロフェッショナル)

第3部

15:10~15:50

NEC白浜リビングラボの紹介
～地域観光事業者と連携した観光サービス開発事例を中心に～

講師：木下友見氏 (NECソリューションイノベータ(株)
イノベーション推進本部白浜リビングラボチーム)

第4部

15:50~16:30

日本観光振興協会が進めるデジタル推進事業
日本観光振興デジタルプラットフォームの紹介

講師：森岡順子氏 (公益社団法人日本観光振興協会 調査研究部門観光情報部長)

申込み

締切:1月19日(金)

下記申込URLまたは、QRコードよりお申込みください。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_jVMpVV_sQB2rY040vpa6Ug



お問い合わせ

公益社団法人日本観光振興協会関西支部 (川畑・高橋)

TEL.06-6311-1220

E-mail: kansai@nihon-kankou.or.jp

—主催：関西ブロック広域観光振興事業推進協議会—

構成団体：近畿運輸局・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・三重県・(公社)びわこビジネスビューロー・(公社)京都府観光連盟・(公財)大阪観光局・(公社)ひょうご観光本部・(一財)奈良県ビジネスビューロー・(公社)和歌山県観光連盟・(公社)三重県観光連盟・(公社)日本観光振興協会関西支部

関西観光DX研修

日時：2024年1月30日(火) 13:30～16:30

講師紹介



吉田晃彦 氏

海の京都DMO 伊根地域本部
(伊根町観光協会) 事務局長

■略歴

大学卒業後、地元の旅行会社に勤務。その後印刷会社の営業を経て2009年10月より伊根町観光協会に勤務。2016年7月に観光協会は解散し海の京都DMOとして再編。現在に至る。

◆テーマ

「データを活用した持続可能な観光地域づくりの事例」

受入れ規模の極めて小さい当地ならではの観光を推進するため、来訪者からアンケート調査を実施。調査結果より導き出される地域に適した来訪者像を明確化。明確化した来訪者像を訴求していくことが持続可能な観光に繋がると捉え、実施している取り組みをご紹介します。



川村武人 氏

NECソリューションイノベータ(株)
イノベーション推進本部
シニアプロフェッショナル

■略歴

システムエンジニアとして、民需系の多様なシステム開発を経験後、NECグループで地域観光DXをテーマに0から新事業を立ち上げ。観光庁や全国多数のDMO、観光協会、観光事業者向けのサービス事業を展開中。また社外活動では600人超えの通訳ガイド組織の運営を行っている。

◆テーマ

「地域の稼ぐスキームづくりに向けた地域商品の直販ツールの紹介」

観光庁のDX事業と連携して、日本観光振興協会とNECソリューションイノベータで取り組んでいる「地域の稼ぐスキームづくりに向けた地域商品の直販プラットフォーム」について紹介。取り組みの背景や、そもそも地域商品の直販とは？また実際の地域での活用事例とその具体的な効果や課題等、多数の地域での実際の事例をもとに説明いたします。



木下友見 氏

NECソリューションイノベータ(株)
イノベーション推進本部
事業デザイン2グループ
白浜リビングラボチーム
UXデザイナー/人間中心設計専門家/PMP

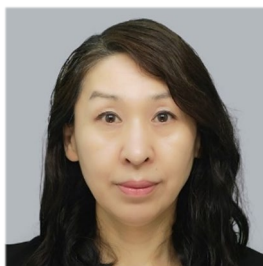
■略歴

生産管理系のシステムエンジニアを経験後、2011年より金融・製造・小売業界などのUI/UXデザイン・コンサルティングに携わる。2022年に和歌山県白浜町での「NEC白浜リビングラボ」の立ち上げ・運営を行うとともに、2023年より「地域商品の直販プラットフォーム」のUXデザインを支援。

◆テーマ

「NEC白浜リビングラボのご紹介 ～地域観光事業者と連携した観光サービス開発事例を中心に」

2022年、和歌山県白浜町に「NEC白浜リビングラボ」を立ち上げました。「NEC白浜リビングラボ」では、地域関係者と未来共創を推進しています。現在は「地域の魅力を活かした観光コンテンツを、地域自ら販売する」という未来像に向けて、地域観光事業者の協力を得ながら、観光サービス「地域消費の直販プラットフォーム」を開催しています。



森岡順子 氏

公益社団法人日本観光振興協会
調査研修部門観光情報部長

■略歴

旅行会社勤務を経て、(社)日本観光協会(現：(公社)日本観光振興協会)入協。国内振興チームリーダー、観光情報課長、広報課長、総合調査研究所主任研究員、全国産業観光推進協議会事務局、観光予報プラットフォーム推進協議会事務局次長(現在、兼務)。現在、調査研究部門観光情報部長。

◆テーマ

「日本観光振興デジタルプラットフォームの紹介」

日本観光振興協会が進めるデジタル推進事業「日本観光振興デジタルプラットフォーム」の機能と活用方法を紹介。昨年度から、観光庁の観光DX事業と連携し「日本観光振興デジタルプラットフォーム構築事業」に着手。昨年度、地域の観光情報の流通拡大を目的にデータベース及びWebサイトを刷新し、地域の観光DXに向けた基盤整備。今年度、データ・マネージメント・プラットフォーム(DMP)の構築により、地域の関係者、観光関連事業者によるデータ活用を推進し、地域での観光を起点とする地域活性化の支援をご紹介します。

お問い合わせ

公益社団法人日本観光振興協会関西支部 (川畑・高橋)

TEL.06-6311-1220

E-mail: kansai@nihon-kankou.or.jp